

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2007-217972

(P2007-217972A)

(43) 公開日 平成19年8月30日(2007.8.30)

(51) Int. Cl.

E 0 4 F 13/26 (2006.01)

F I

E 0 4 F 13/08 1 O 1 D

テーマコード (参考)

2 E 1 1 O

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2006-40353 (P2006-40353)

(22) 出願日 平成18年2月17日 (2006.2.17)

(71) 出願人 000114086

ミサワホーム株式会社

東京都杉並区高井戸東2丁目4番5号

(74) 代理人 100090033

弁理士 荒船 博司

(72) 発明者 佐賀 正幸

東京都杉並区高井戸東2丁目4番5号 ミ
サワホーム株式会社内

Fターム(参考) 2E110 AA09 AA15 AA42 AB04 AB15

AB22 BD23 CA04 CC03 CC17

CC23 DA03 DA23 DC06 DC08

GA14Z GA33Z GA42Z GB01Z GB12Z

GB32Z

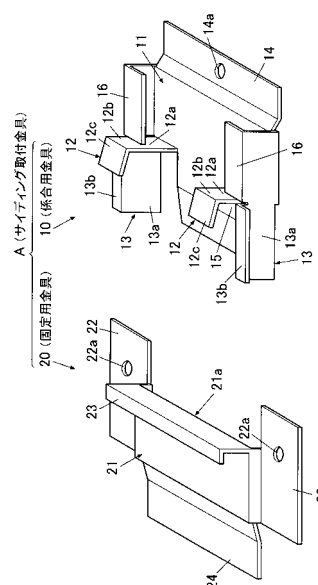
(54) 【発明の名称】 サイディング取付金具

(57) 【要約】

【課題】サイディング材を窓枠の側端部に近接するようにして設けることができるとともに、サイディング材を外壁に強固に固定することが可能なサイディング取付金具を提供することを目的とする。

【解決手段】サイディング材1を、窓枠2の側端部2aに近接するようにして外壁3に取り付けるためのサイディング取付金具Aにおいて、前記窓枠2の側端部2aに近接して設けられる係合用金具10と、固定用金具20とからなり、前記係合用金具は、係合用金具本体に、前記窓枠に近接する方向に延出して設けられ、外壁に固定される固定部を備えており、前記固定用金具20は、前記係合用金具10に設けられた延出部15が係合して、この延出部15を上方から押さえる押さえ部21aを有する固定用金具本体21を備えている。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

サイディング材を、窓枠の側端部に近接するようにして外壁に取り付けるためのサイディング取付金具において、

前記窓枠の側端部に近接して設けられる係合用金具と、固定用金具とからなり、

前記係合用金具は、係合用金具本体と、

この係合用金具本体の表面に設けられ、サイディング材の幅方向一縁部に設けられた被係合部に係合する係合部と、

前記係合用金具本体の両側縁部に設けられ、サイディング材を所定高さに支持する支持部と、

前記係合用金具本体に、前記窓枠に近接する方向に延出して設けられ、外壁に固定される固定部と、

前記係合用金具本体に、前記固定部と反対方向に延出して設けられた延出部とを備えており、

前記固定用金具は、前記係合用金具の延出部が係合して、この延出部を上方から押さえる押さえ部を有する固定用金具本体と、

この固定用金具本体に設けられ、外壁に固定される本体固定部とを備えていることを特徴とするサイディング取付金具。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のサイディング取付金具において、

前記固定用金具の本体固定部には、止着材を挿通するための孔部が形成されており、

この孔部は、前記係合用金具と固定用金具とが外壁に設置された際に、前記係合用金具の係合部の近傍に位置するように、前記本体固定部に形成されていることを特徴とするサイディング取付金具。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載のサイディング取付金具において、

前記サイディング材の端縁と窓枠との間に目地部が形成されており、

前記係合用金具の固定部は、前記目地部の底部に位置するようにして延出していることを特徴とするサイディング取付金具。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載のサイディング取付金具において、

前記係合用金具本体の表面に、前記係合部の後背部に当接する当接部が設けられていることを特徴とするサイディング取付金具。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載のサイディング取付金具において、

前記固定用金具本体の表面に、前記係合用金具の支持部とともにサイディング材を所定高さに支持する補助支持部が設けられていることを特徴とするサイディング取付金具。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、サイディング材を、窓枠の側端部に近接するようにして外壁に取り付けるためのサイディング取付金具に関する。

【背景技術】**【0002】**

近年、住宅等の建物の構築についてはその工業化が進み、例えば壁や床、屋根といった構成要素を予め工場にてパネル化しておき、施工現場でこれらのパネルを組み立てることにより、建物を構築するといったパネル工法が一部に採用されている。

【0003】

以上のようなパネル工法として、建物の壁体に外装材を取り付けるための外装材の取付金具および外装材の縦貼り用胴縁、並びに、建物の壁体に外装材を取り付ける外装材の取

10

20

30

40

50

付け工法に関する技術が知られている（特許文献 1 参照）。

この特許文献 1 に記載の取付金具は、正面側に、左右両側の外装材の各縁部に設けられた被係合部にそれぞれ係合する外装材係合部が設けられた構成となっている。

【特許文献 1】特開 2 0 0 0 - 3 5 6 0 2 4 号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0 0 0 4】

ところで、上述したように特許文献 1 に記載の取付金具は、左右に外装材を設ける際に用いられるものであるため、例えば、外装材を窓枠の側端部に近接するようにして設ける際には適していない場合がある。

10

そこで、例えば、外装材の一方の縁部に形成された被係合部に係合するとともに、外装材と窓枠との間の目地部から釘打するだけで、外装材を窓枠の側端部に近接して設けることが可能な取付金具等の開発がなされている。

【0 0 0 5】

ところが、このような取付金具の場合、外装材の被係合部に係合する部分と釘打される部分との間の距離が長ければ長いほど、例えば、強い風圧力が加わった際に外装材に生じる引張力に抗しきれずに、外装材が持ち上がり、外れてしまう可能性があるため、取付金具自体の強度を必要以上に強くしたり、留め付ける釘の量を出来る限り増やしたり等の作業を行っていた。

このため、外装材を窓枠の側端部に近接して設けつつ、外装材（以下、サイディング材）を外壁に強固に固定することを可能とし、これによって、上述のような作業手間を省略することができる技術の開発が強く望まれていた。

20

【0 0 0 6】

本発明の課題は、サイディング材を窓枠の側端部に近接するようにして設けることができるとともに、サイディング材を外壁に強固に固定することが可能なサイディング取付金具を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0 0 0 7】

請求項 1 に記載の発明は、例えば図 1 に示すように、サイディング材 1 を、窓枠 2 の側端部 2 a に近接するようにして外壁 3 に取り付けるためのサイディング取付金具 A において、

30

前記窓枠 2 の側端部 2 a に近接して設けられる係合用金具 1 0 と、固定用金具 2 0 とからなり、

前記係合用金具 1 0 は、係合用金具本体 1 1 と、

この係合用金具本体 1 1 の表面に設けられ、サイディング材 1 の幅方向一縁部に設けられた被係合部 1 a に係合する係合部 1 2 と、

前記係合用金具本体 1 1 の両側縁部に設けられ、サイディング材 1 を所定高さに支持する支持部 1 3 と、

前記係合用金具本体 1 1 に、前記窓枠 2 に近接する方向に延出して設けられ、外壁 3 に固定される固定部 1 4 と、

40

前記係合用金具本体 1 1 に、前記固定部 1 4 と反対方向に延出して設けられた延出部 1 5 とを備えており、

前記固定用金具 2 0 は、前記係合用金具 1 0 の延出部 1 5 が係合して、この延出部 1 5 を上方から押さえる押さえ部 2 1 a を有する固定用金具本体 2 1 と、

この固定用金具本体 2 1 に設けられ、外壁 3 に固定される本体固定部 2 2 とを備えていることを特徴とする。

【0 0 0 8】

請求項 1 に記載の発明によれば、前記係合用金具本体 1 1 に、前記窓枠 2 に近接する方向に延出する固定部 1 4 が設けられているので、この固定部 1 4 を前記窓枠 2 に近接して外壁 3 に固定することによって、前記係合用金具 1 0 を窓枠 2 に近接して設けることがで

50

きる。そして、このように窓枠 2 に近接して設けられた係合用金具 10 の係合部 12 に、前記サイディング材 1 の被係合部 1a を係合させることで、サイディング材 1 を窓枠 2 の側端部 2a に近接するようにして設けることができる。

しかも、前記固定用金具 20 は、前記係合用金具 10 の延出部 15 を上方から押さえる押さえ部 21a を有していることから、従来とは異なり、前記サイディング材 1 に生じる引張力を効果的に抑制することができるので、前記係合用金具 10 の持ち上がりを防ぐことができ、前記サイディング材 1 を外壁 3 に強固に固定することができる。

【0009】

また、前記係合用金具本体 11 の両側縁部に設けられた支持部 13 によって、前記サイディング材 1 を所定の高さに支持することができるので、サイディング材 1 と外壁 3 との間に隙間を形成することができ、この隙間を水・通気経路として確保することができる。 10

しかも、このように前記支持部 13 によって前記サイディング材 1 を支持することができるので、サイディング材 1 を安定して設置することができる。

【0010】

請求項 2 に記載の発明は、例えば図 1 および図 2 に示すように、請求項 1 に記載のサイディング取付金具 A において、

前記固定用金具 20 の本体固定部 22 には、止着材 4 を挿通するための孔部 22a が形成されており、

この孔部 22a は、前記係合用金具 10 と固定用金具 20 とが外壁 3 に設置された際に、前記係合用金具 10 の係合部 12 の近傍に位置するように、前記本体固定部 22 に形成されていることを特徴とする。 20

【0011】

請求項 2 に記載の発明によれば、前記固定用金具 20 の本体固定部 22 に前記孔部 22a が形成されているので、この孔部 22a に止着材 4 を挿通することによって、前記固定用金具 20 を外壁 3 に強固に固定することができる。

しかも、前記係合用金具 10 と固定用金具 20 とが外壁 3 に設置された際に、前記孔部 22a が前記係合用金具 10 の係合部 12 の近傍に位置することから、強固に固定された前記固定用金具 20 によって、前記係合部 12 に係合されるサイディング材 1 に生じた引張力をより効果的に抑制することができるので、前記係合用金具 10 の持ち上がりをより確実に防ぐことができ、前記サイディング材 1 を外壁 3 に強固に固定することができる。 30

【0012】

請求項 3 に記載の発明は、例えば図 2 に示すように、請求項 1 または 2 に記載のサイディング取付金具 A において、

前記サイディング材 1 の端縁と窓枠 2 との間に目地部 5 が形成されており、

前記係合用金具 10 の固定部 14 は、前記目地部 5 の底部 5a に位置するようにして延出していることを特徴とする。

【0013】

請求項 3 に記載の発明によれば、前記係合用金具 10 の固定部 14 が、前記目地部 5 の底部 5a に位置するようにして延出していることから、例えば止着材 4 によって前記固定部 14 を固定する際に、前記目地部 5 から止着材 4 を容易に挿入できるので、前記固定部 14 を外壁 3 に固定しやすい。 40

【0014】

請求項 4 に記載の発明は、例えば図 1 に示すように、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のサイディング取付金具 A において、

前記係合用金具本体 11 の表面に、前記係合部 12 の後背部 12a に当接する当接部 16 が設けられていることを特徴とする。

【0015】

請求項 4 に記載の発明によれば、前記係合用金具本体 11 の表面に、前記係合部 12 の後背部 12a に当接する当接部 16 が設けられているので、前記サイディング材 1 に生じた引張力によって後方に傾いて折れ曲がろうとする前記係合部 12 を、前記当接部 16 に 50

よって抑えることができる。これによって、前記係合用金具 10 の持ち上がりをより確実に防ぐことができ、前記サイディング材 1 を外壁 3 により強固に固定することができる。

【0016】

請求項 5 に記載の発明は、例えば図 1 に示すように、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のサイディング取付金具 A において、

前記固定用金具本体 21 の表面に、前記係合用金具 10 の支持部 13 とともにサイディング材 1 を所定高さに支持する補助支持部 23 が設けられていることを特徴とする。

【0017】

請求項 5 に記載の発明によれば、前記固定用金具本体 21 の表面に、前記係合用金具 10 の支持部 13 とともにサイディング材 1 を所定高さに支持する補助支持部 23 が設けられているので、サイディング材 1 と外壁 3 との間に隙間を形成することができ、この隙間を水・通気経路として確保することができる。 10

しかも、前記係合用金具 10 の支持部 13 と前記補助支持部 23 とで前記サイディング材 1 を支持するので、サイディング材 1 をより安定して設置することができる。

【発明の効果】

【0018】

本発明によれば、係合用金具の係合用金具本体に、窓枠に近接する方向に延出する固定部が設けられているので、この固定部を前記窓枠に近接して外壁に固定することによって、前記係合用金具を窓枠に近接して設けることができる。そして、このように窓枠に近接して設けられた係合用金具の係合部に、サイディング材の被係合部を係合させることで、サイディング材を窓枠の側端部に近接するようにして設けることができる。 20

しかも、固定用金具は、前記係合用金具の延出部を上方から押さえる押さえ部を有していることから、従来とは異なり、前記サイディング材に生じる引張力を効果的に抑制することができるので、前記係合用金具の持ち上がりを防ぐことができ、前記サイディング材を外壁に強固に固定することができる。

これによって、従来とは異なり、取付金具自体の強度を必要以上に強くしたり、留め付ける釘の量を出来る限り増やしたり等の作業手間を省略することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0019】

以下、図面を参照して本発明に係るサイディング取付金具 A の実施の形態について説明する。 30

【0020】

本実施の形態のサイディング取付金具 A は、図 1 に示すように、サイディング材 1 を、窓枠 2 の側端部 2a に近接するようにして外壁 3 に取り付けるためのものであり、前記窓枠 2 の側端部 2a に近接して設けられる係合用金具 10 と、固定用金具 20 とからなる。

【0021】

ここで、前記外壁 3 は外壁パネル 3 であり、この外壁パネル 3 は、図示はしないが、縦横の框材が矩形状に組み立てられるとともに、矩形枠の内部に補助棧材が縦横に組み付けられて枠体が構成され、この枠体の両面もしくは片面に、面材が貼設されたものであり、内部中空な構造となっている。さらに、その内部中空な部分には、通常、グラスウールやロックウール等の断熱材が装填されるものである。 40

そして、前記外壁 3 には開口部が形成されており、この開口部に窓枠 2 が設置された状態となっている。

【0022】

前記サイディング材 1 は、高さ方向に向かって長尺に形成され、図 2 に示すように、幅方向一縁部には、前記係合用金具本体 11 の表面に設けられた係合部 12 に係合する被係合部 1a が設けられている。また、幅方向他縁部には、図 5 に示すように、異なるサイディング取付金具（以下、補助取付金具 C）が係合するための被係合部 1b が形成されている。

また、図 2 および図 6 に示すように、サイディング材 1 の幅方向両縁部には、前記被係 50

合部 1 a , 1 b の他に、切欠部 1 c , 1 d が形成された上サネ 1 e および下サネ 1 f を備えており、隣り合うサイディング材 1 どうしをサネ接合できるようになっている。

【 0 0 2 3 】

また、前記係合用金具 1 0 は、図 1 に示すように、係合用金具本体 1 1 と、この係合用金具本体 1 1 の表面に設けられ、サイディング材 1 の幅方向一縁部に設けられた被係合部 1 a に係合する係合部 1 2 と、前記係合用金具本体 1 1 の両側縁部に設けられ、サイディング材 1 を所定高さに支持する支持部 1 3 と、前記係合用金具本体 1 1 に、前記窓枠 2 に近接する方向に延出して設けられ、外壁 3 に固定される固定部 1 4 と、前記係合用金具本体 1 1 に、前記固定部 1 4 と反対方向に延出して設けられた延出部 1 5 とを備えている。

【 0 0 2 4 】

前記係合部 1 2 は、立脚部 1 2 b と、この立脚部 1 2 b から所定の角度で折曲加工され、前記切欠部 1 c に挿入される係合片 1 2 c とを備えている。このような係合部 1 2 によれば、前記立脚部 1 2 b および係合片 1 2 c とが金属弾性により僅かに変移可能に構成されているので、サイディング材 1 の被係合部 1 a を係合させやすくなっている。

【 0 0 2 5 】

前記支持部 1 3 は、前記係合用金具本体 1 1 の両側縁部に立設された支持部本体 1 3 a と、この支持部本体 1 3 a の上端部に設けられ、前記サイディング材 1 の裏面 1 g に当接して支持する支持面部 1 3 b とを備えている。

このような支持部 1 3 によれば、前記サイディング材 1 を所定の高さに支持することができるので、サイディング材 1 と外壁 3 との間に隙間を形成することができ、この隙間を水・通気経路として確保することができる。しかも、このように前記支持部 1 3 によって前記サイディング材 1 を支持することができるので、サイディング材 1 を安定して設置することができる。

【 0 0 2 6 】

前記固定部 1 4 は、前記サイディング材 1 の端縁と窓枠 2 との間に形成された目地部 5 の底部 5 a に位置するようにして延出している。また、この固定部 1 4 には、止着材 4 等を挿通するための孔部 1 4 a が設けられている。これによって、例えば止着材 4 によって前記固定部 1 4 を固定する際に、前記目地部 5 から止着材 4 を容易に挿入できるので、この固定部 1 4 を外壁 3 に固定しやすい。

【 0 0 2 7 】

前記延出部 1 5 は、前記固定部 1 4 と反対方向に延出しており、前記係合部 1 2 の立脚部 1 2 b の下端部の位置から、前記係合用金具本体 1 1 と一体的に形成されて設けられている。

【 0 0 2 8 】

また、前記係合用金具本体 1 1 の表面に、前記係合部 1 2 の後背部 1 2 a に当接する当接部 1 6 が設けられている。

これによって、前記サイディング材 1 に生じた引張力によって後方に傾いて折れ曲がろうとする前記係合部 1 2 を、前記当接部 1 6 によって抑えることができるので、前記係合用金具 1 0 の持ち上がりをより確実に防ぐことができ、前記サイディング材 1 を外壁 3 により強固に固定することができる。

【 0 0 2 9 】

一方、前記固定用金具 2 0 は、前記係合用金具 1 0 の延出部 1 5 が係合して、この延出部 1 5 を上方から押さえる押さえ部 2 1 a を有する固定用金具本体 2 1 と、この固定用金具本体 2 1 に設けられ、外壁 3 に固定される本体固定部 2 2 とを備えている。

【 0 0 3 0 】

前記押さえ部 2 1 a は、前記固定用金具 2 0 を外壁 3 に固定した際に、前記固定用金具本体 2 1 と外壁 3 との間に形成される隙間を利用して前記係合用金具 1 0 の延出部 1 5 を押さえるようにしている。

【 0 0 3 1 】

前記本体固定部 2 2 には、止着材 4 を挿通するための孔部 2 2 a が形成されており、こ

10

20

30

40

50

の孔部 2 2 a は、前記係合用金具 1 0 と固定用金具 2 0 とが外壁 3 に設置された際に、前記係合用金具 1 0 の係合部 1 2 の近傍に位置するように、前記本体固定部 2 2 に形成されている。

このように前記固定用金具 2 0 の本体固定部 2 2 に前記孔部 2 2 a が形成されているので、この孔部 2 2 a に止着材 4 を挿通することによって、前記固定用金具 2 0 を外壁 3 に強固に固定することができるようになっている。

しかも、前記係合用金具 1 0 と固定用金具 2 0 とが外壁 3 に設置された際に、前記孔部 2 2 a が前記係合用金具 1 0 の係合部 1 2 の近傍に位置することから、強固に固定された前記固定用金具 2 0 によって、前記係合部 1 2 に係合されるサイディング材 1 に生じた引張力をより効果的に抑制することができるので、前記係合用金具 1 0 の持ち上がりをより 10 確実に防ぐことができ、前記サイディング材 1 を外壁 3 に強固に固定することができる。

【 0 0 3 2 】

また、前記固定用金具本体 2 1 の表面に、前記係合用金具 1 0 の支持部 1 3 とともにサイディング材 1 を所定高さに支持する補助支持部 2 3 が設けられている。

これによって、サイディング材 1 と外壁 3 との間に隙間を形成することができ、この隙間を水・通気経路として確保することができる。しかも、前記係合用金具 1 0 の支持部 1 3 と前記補助支持部 2 3 とで前記サイディング材 1 を支持するので、サイディング材 1 をより安定して設置することができる。

【 0 0 3 3 】

さらに、前記固定用金具本体 2 1 には、前記本体固定部 2 2 とは別に、この固定用金具 20 本体 2 1 の持ち上がりを防ぐための補助固定部 2 4 が前記押さえ部 2 1 a に隣接して設けられている。

この補助固定部 2 4 によれば、前記係合用金具 1 0 の延出部 1 5 が係合した際に、前記固定用金具本体 2 1 に生じる引張力を、前記押さえ部 2 1 a とともに押さえることができるようになっている。

【 0 0 3 4 】

なお、以上のような図 1 に示すサイディング取付金具 A の他にも、図 3 に示すようなサイディング取付金具 B を使用しても良い。

すなわち、このサイディング取付金具 B は、前記窓枠 2 の側端部 2 a に近接して設けられる係合用金具 3 0 と、固定用金具 4 0 とからなる。 30

また、前記係合用金具 3 0 は、係合用金具本体 3 1 と、この係合用金具本体 3 1 の表面に設けられ、サイディング材 1 の幅方向一縁部に設けられた被係合部 1 a に係合する係合部 3 2 と、前記係合用金具本体 3 1 の両側縁部に設けられ、サイディング材 1 を所定高さに支持する支持部 3 3 と、前記係合用金具本体 3 1 に、前記窓枠 2 に近接する方向に延出して設けられ、外壁 3 に固定される固定部 3 4 と、前記係合用金具本体 3 1 に、前記固定部 3 4 と反対方向に延出して設けられた延出部 3 5 とを備えている。

さらに、前記固定用金具 4 0 は、前記係合用金具 3 0 の延出部 3 5 が係合して、この延出部 3 5 を上方から押さえる押さえ部 4 1 a を有する固定用金具本体 4 1 と、この固定用金具本体 4 1 に設けられ、外壁 3 に固定される本体固定部 4 2 とを備えている。

このようなサイディング取付金具 B によれば、構造の単純化を図っており、図 1 に示す 40 サイディング取付金具 A に比して、成形しやすく、廉価に製造できる。

【 0 0 3 5 】

なお、前記補助取付金具 C は、図 4 に示すように、この補助取付金具 C の本体部 5 0 の表面に設けられ、サイディング材 1 の幅方向他縁部に設けられた被係合部 1 b に係合する係合部 5 1 と、前記本体部 5 0 の両側縁部に設けられ、サイディング材 1 を所定高さに支持する支持部 5 2 と、前記本体部 5 0 の表面に設けられ、前記係合部 5 1 の後背部 5 1 a に当接する当接部 5 3 と、前記本体部 5 0 に設けられ、外壁 3 の固定される固定部 5 4 とを備えている。

【 0 0 3 6 】

また、この補助取付金具 C を用いてサイディング材 1 を、窓枠 2 の他側端部 2 b に近接 50

するようにして外壁 3 に取り付ける際は、図 6 に示すように、サイディング材 1 の幅方向他縁部の下サネ 1 f を加工しておくようにする。

【 0 0 3 7 】

次に、以上のようなサイディング取付金具 A を用いたサイディング材 1 の取付方法について説明する。

【 0 0 3 8 】

すなわち、まず、図 5 に示すように、窓枠 2 の他側端部 2 b に近接して前記補助取付金具 C を設け、この補助取付金具 C の係合部 5 1 を、サイディング材 1 の他縁部の被係合部 1 b に係合させるようにしてサイディング材 1 を設ける。

なお、上述したように、本来であればサイディング材 1 の他縁部は下サネ 1 f であるが、図 6 に示すように、補助取付金具 C の係合が可能ないように、かつサイディング材 1 を窓枠 2 に近接して設けることができるように加工されている。また、図示はしないが、隣り合うサイディング材 1 , 1 どうしはサネ接合によって接合され、外壁 3 に複数設けられた状態となっている。

【 0 0 3 9 】

そして、このように隣り合うサイディング材 1 , 1 どうしをサネ接合によって接合していった場合、本来は窓枠 2 の他側端部 2 b にサイディング材 1 の下サネ 1 f が位置するように設けられているので、窓枠 2 の一側端部 2 a においては、図 2 に示すように、上サネ 1 e が位置するようにサイディング材 1 が設けられる。

ここで、前記サイディング取付金具 A の固定用金具 2 0 を、予め外壁 3 の所定の位置に固定しておく。次いで、窓枠 2 の一側端部 2 a に設けられるサイディング材 1 の被係合部 1 a に、予め前記サイディング取付金具 A の係合用金具 1 0 の係合部 1 2 を係合させておく。

【 0 0 4 0 】

その後、図 2 に示すように、外壁 3 の所定の位置に固定された固定用金具 2 0 と、サイディング材 1 の被係合部 1 a に係合された係合用金具 1 0 とを隣接設置するようにして、前記サイディング材 1 を外壁 3 に設けるようにする。

この時、前記固定用金具本体 2 1 の押さえ部 2 1 a によって前記係合用金具本体 1 1 の延出部 1 5 を押さえるようにして、前記固定用金具 2 0 と係合用金具 1 0 とが隣接設置された状態となっている。

【 0 0 4 1 】

そして、このように設けたサイディング材 1 の端縁と窓枠 2 との間の目地部 5 から止着材 4 を挿入して、この止着材 4 によって係合用金具 1 0 の固定部 1 4 を固定する。

また、目地部 5 には、この目地部 5 の隙間を埋めるための目地材（図示せず）を設けるようにする。この際、目地材としては乾式でも湿式でも良いものとする。以上のようにしてサイディング材 1 の取り付けがなされる。

【 0 0 4 2 】

なお、以上のように本実施の形態のサイディング取付金具 A は、サイディング材 1 を窓枠 2 に近接して設けるためのものとしたが、これに限られるものではなく、例えばサイディング材 1 を、シャッター枠や換気フード、バルコニ等の外部に設けられる部品に近接して設けるために用いても良い。

【 0 0 4 3 】

本実施の形態によれば、前記係合用金具 1 0 の係合用金具本体 1 1 に、前記窓枠 2 に近接する方向に延出する固定部 1 4 が設けられているので、この固定部 1 4 を前記窓枠 2 に近接して外壁 3 に固定することによって、前記係合用金具 1 0 を窓枠 2 に近接して設けることができる。そして、このように窓枠 2 に近接して設けられた係合用金具 1 0 の係合部 1 2 に、サイディング材 1 の被係合部 1 a を係合させることで、サイディング材 1 を窓枠 2 の側端部 2 a に近接するようにして設けることができる。

しかも、前記固定用金具 2 0 は、前記係合用金具 1 0 の延出部 1 5 を上方から押さえる押さえ部 2 1 a を有していることから、従来とは異なり、前記サイディング材 1 に生じる

10

20

30

40

50

引張力を効果的に抑制することができるので、前記係合用金具 10 の持ち上がりを防ぐことができ、前記サイディング材 1 を外壁 3 に強固に固定することができる。

これによって、従来とは異なり、取付金具自体の強度を必要以上に強くしたり、留め付ける釘の量を出来る限り増やしたり等の作業手間を省略することができる。

【図面の簡単な説明】

【0044】

【図 1】本発明のサイディング取付金具を示す斜視図である。

【図 2】図 1 のサイディング取付金具を用いたサイディング材の取付構造を示す側断面図である。

【図 3】異なる態様のサイディング取付金具を示す斜視図である。

10

【図 4】補助取付金具を示す斜視図である。

【図 5】補助取付金具を用いたサイディング材の取付構造を示す側断面図である。

【図 6】サイディング材の下サネの加工態様を示す概念図である。

【符号の説明】

【0045】

A サイディング取付金具

1 サイディング材

2 窓枠

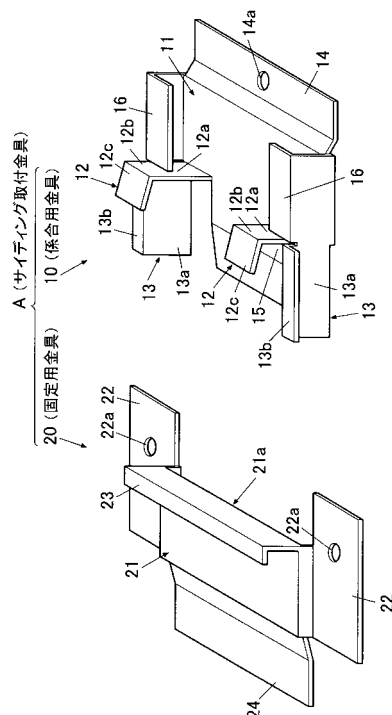
3 外壁

10 係合用金具

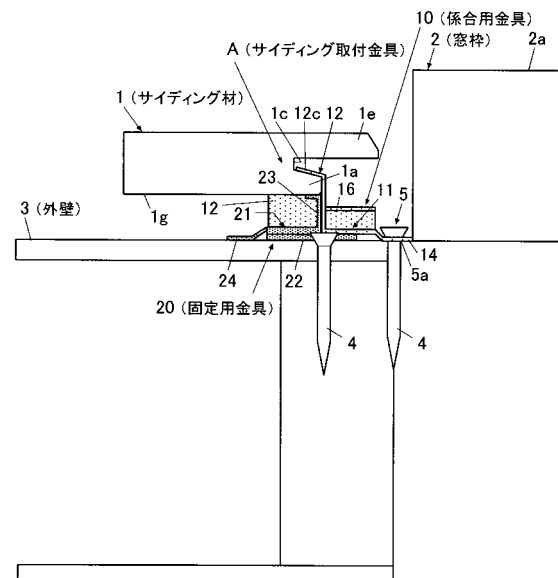
20 固定用金具

20

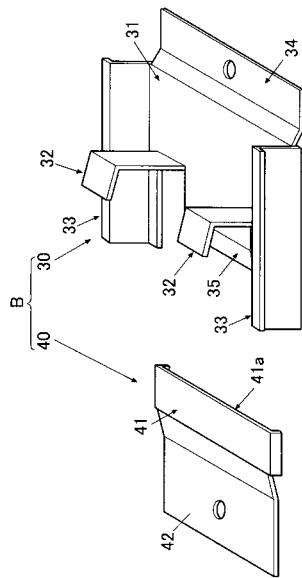
【図 1】



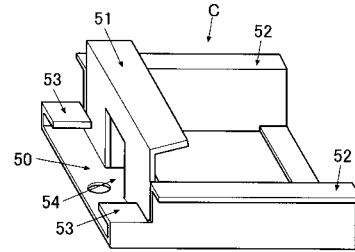
【図 2】



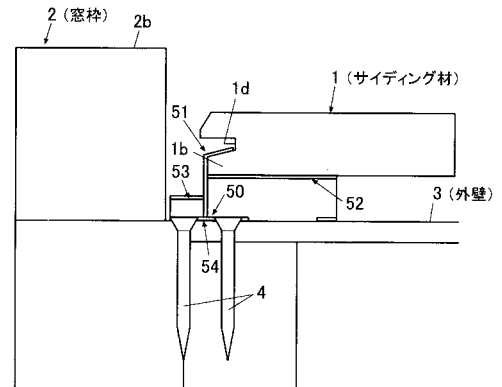
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【図 6】

